



発行者 香川自治会広報委員会 印刷所 (有)スエカネ印刷

住みやすい街『香川』を目指して

香川自治会長 古谷 金 政

一期二年間の役員任期も、今、無事に終わろうとしています。過ぎた日々を想うと、アッという間の二年間でした。就任当初は、香川自治会の皆さんの期待にたえず、大過なく務めることができた不安でしたが、役員はじめ多くの会員の皆様のご協力とご支援のおかげで、順調に自治会の運営をすることができました。誠に有難うございました。

私の提言

茅ヶ崎市の自治会組織の中でも最大の世帯数になろうとしている香川、急速な発展（発展と言えのかどうか）をしていることは皆様ご承知の通りです。

香川に生まれ、育って五十年余りになりますが、毎号の「広報わがわ」に、古老の方々の話が掲載されて、非常に楽しみにしています。またこんなふうだったのかと驚かされることしばしばです。分教場が香川小学校となり、甘沼・松風台などの子供さん達と一緒に、中学校では、鶴が台と北陽に分かれる。

土地基盤の整備としては、雨のたびに皆様にご迷惑をかけてきました。香川南雨水幹線は、平成五年度に金子薬局の西側まで完成しました。その先については、香川小学校の北側までの延長を今後の課題としていこうとします。公共下水工事については、平成五年度まで、延二千八百メートルにもおよぶ、広域にわたる整備が進んでいます。

香川駅前広場の花壇を移設し、また、JRのご厚意で隅切りをし、曲り易く見通しのよい十字路になりました。

今度香川という枠の中での生活が、いっぺんに広がり、子供も大人もたいへんなことだったでしょう。現在、故郷を見直そうといった風潮が高まり、昔からのお祭りや地区の行事といったものを、大切に保存しようと努力しています。私達の子供の頃は、これといった娯楽もなく、お祭りや地区の行事に参加することが、最大の楽しみでした。

家庭での環境作りが問題

茅ヶ崎市青少年補導員 熊沢 茂之

伴って、家庭における環境づくりといったことが重要になって来たのではないのでしょうか。家庭内での会話の無さ、子供は塾に行き帰りの状態まで把握できません。

現在の子供達の置かれている環境の複雑さに驚き、また同情しています。環境の浄化といったことを、それなりに考えて、いろいろな場合などでも、話し合いが行われておりますが、社会の発展と共にますます難しい問題となり、それに

小・中学校の月二回の土曜日休み・連休となるこの日を利用して、家族で出かけてみてはどうでしょうか。手作りのお弁当、子供さんに計画をまかせ、日帰りでもいいので、まず身近で、すぐに実行できることから行動し、親子の会話、家族の良さというものを、改めて考えてみる必要があると思います。

地域の古老の方々が語ってくれた古き時代の香川、良いこともあり、たいへんだったこともあります。私達がその年代になり、あの当時はこうだったと楽しく思い出せることを願って、毎日毎日を過ごしてゆきたいと思えます。

平成六年度評議員決まる

平成六年度の評議員は次の通りです。

- 第一町内会
 - 町田 淳 6-2組
 - 鈴木彦三郎 14組
 - 山口 章 36組
 - 荏原 兼一 21-5組
- 第二町内会
 - 多田 信久 16-1組
 - 高橋 猛 3組
 - 藤田 進 27組

は、大喜びでした。大人達は隣り近所総出で、道路の雪かきをしました。「困ったものですね」と挨拶を交わしながら、家の前を通る人々のために、力を合わせて汗を流し動きました。思わぬ大雪でしたが、心温まる出来事でもありました。

- 第四町内会
 - 茅野 俊雄 6-3組
 - 小松田誠一 7-2組
 - 阿部 利昭 10組
 - 栗原 昇 22-1組
 - 鹿兒島 速 30組
 - 石嶋 一雄 36-4組
 - 湯原 一成 38-4組
 - 伊原美代子 44-1組
- 第三町内会
 - 柳川 功 2-1組
 - 和田 卓治 5-1組
 - 金森 四郎 9-2組
 - 三藤 忠 31-3組

駅前看板を立てて 環境委員会がよびかけ

駅構内の清掃は、危険なために駅員の方からやめるようにいわれ、環境委員会でも清掃できなくなりました。

しかし、びんやかん、雑誌、紙くずなどたくさん散乱して、たいへんきたないのが現状です。そこで環境委員会では、心ない人の反省を促し、美化の一端にもと看板を立てて不法投棄をしないようによびかける事にしました。

六年度は体育委員会で 独自の活動を考える

体育委員会と体育振興会の関係

体育振興会発足の事情から今までの歩みについても、くり返し述べられてきました。

体力の向上、健康増進、親睦を目的として、誰でも気軽に参加できるレクリエーション行事も、体育委員会として独自に考えて活

動できるのではないのでしょうか。体育＝スポーツではなく老若男女が楽しめるものであってほしい。六年度から体振と体育委員会とは別に行事をくみ、町内の体振役員は体育委員を兼務しない。町内対抗種目の選手選出は、体振行事なので体振がやる。体育委員会の予算が全額選手や役員の手当に使用していたのを改めることが、三月の定例役員会で決まりました。

町内対抗バドミントン大会 第四町内会が優勝

二月二十日(日)、午前九時半から香川小学校で、町内対抗バドミントン大会が、香川小学校の体育館で行われました。

試合形式は、総当り、リーグ戦、男子ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルス、15ポイント、ノセットマッチ。組合わせは、

- ☆第一試合
 - Aコート 第三町内会ー第二町内会
 - Bコート 甘沼ー松風台
 - Cコート 第四町内会ー第一町内会
 - ☆第二試合
 - Aコート 松風台ー第一町内会
 - Bコート 第二町内会ー第四町内会
 - Cコート 甘沼ー第三町内会
 - ☆第三試合
 - Aコート 甘沼ー第二町内会
 - Bコート 第一町内会ー第三町内会
 - Cコート 松風台ー第四町内会
 - ☆第四試合
 - Aコート 第四町内会ー甘沼
 - Bコート 第三町内会ー松風台
 - Cコート 第二町内会ー第一町内会
 - ☆第五試合
 - Aコート 第三町内会ー第四町内会
 - Bコート 第一町内会ー甘沼
 - Cコート 松風台ー第二町内会
- 試合の結果は、優勝第四、二位第二、三位第一、四位甘沼、五位松風台、六位第三町内会。

「酔筆」

孫

松永あきら

広報の上総さんから「随想」心にあるものを書けと言われ、あれ、随想と随筆とどう違うのだろうと思ひ、広辞林を開いてみると、随想とは、思いつくままのこと。おりおりに感じたこと。また、それを書きとめた文章。とあり、随筆とは思いつくままに、見聞・感想などを書いた文章(作品)。随想。エッセイ。と出ている。全く同じか、一寸意味が違うのか、私には、分からない。日本語はなかなか難しいと思う。「エッセイ」と言っても、さも自分が自分の心にあるものを書いたつもりでも、テレビや書籍などから入ってくる情報を、あたかも自分の知識であ

るかのように錯覚をおこしている場合がある。広辞林を見ているときに随筆の隣をふと見ると「酔筆」とあった。酒に酔って、文・絵などを書くこと。またその作品とあった。よし、この酔筆で焼酎の薬草割りを飲みながら思いつくままに書いてみようと思った。それにしても思うのは、孫である。一言で孫は可愛いというが、本当に可愛いのは、孫ではない。どうして可愛いのか、或る人は「おじいちゃん、おばあちゃんには責任がないから」というが果たしてそうなのだろうか。又、娘より可愛いと言う人もいるが、私はそんなことはない。娘も可愛い

いし、孫も可愛い。おばあちゃん、よく孫に電話をかける。せめて孫の声だけでも、いじらしい限りである。そばで聞いていると「ごはんはなにを食べた」から始まり、「勉強はしたか」「風邪はひかないか」とか、目を細め、電話機の前に座りこんでの長電話である。日曜日に来たばかりなのに次の日の月曜日にもう長電話をしている。仕事の合間にふと思いつくと、いてもたってもいらぬ衝動にかられるらしい。孫娘も心得たものである。電話なのに学校で習ったばかりの歌を唱ったり、童話を読みあげたりして、おばあちゃんを喜ばしている。自分も子供を育てるときにそうだったように、親は子供にとって絶対的なものである。叱っても叱っても子供は親の懐にとびこんでくる。おじ

自治会活動にもっと関心を

会計委員長 渥美隆次

「燃せないゴミ」「びん・かん」「生ゴミ」などを、収集日に、決められた所に、決められた方法で、きちんと出す。空地や自転車置場、道路などに空き缶やゴミなどを捨てない。人間なら誰にでもできることが、なかなか出来ないのが現状のようです。私にとっては、犬や猫の糞などより、そちらの方が気にかかります。環境整備や衛生委員会だけの問題ではなくて、地域全体がもっと関心をもって協力して欲しい問題です。

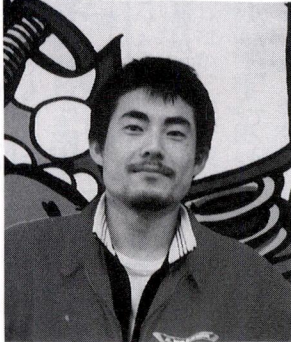
また、自治会の組織と町内会や各委員会の活動内容などにも、気にかかっています。例えば、体育振興会と自治会の体育委員会との関係やその活動内容です。もう少し具体的に言うと、「体育」

がすぐに、バレーボールやジョギングなどのスポーツ活動になり勝ちです。会員全体の年齢など考慮して、「体育イコールスポーツ」ではないという発想での委員会活動が、今後もっと必要だと思うのです。次に、文化厚生委員会の行事内容とその協力体制のあり方です。納涼大会、敬老大会、文化祭と八月から十月に集中する三大行事を行うために、もっと計画的に町内会組織を活用すべきです。誤解を恐れず言えば、もっと町内会に責任分担してもらおうことです。何故なら、これらは自治会全体で取り組まなければ出来ない行事だからです。

更に、役員なら誰でも頭を悩ますと言った問題が、自治会全体の問題になり、大きいことも、大きな問題です。問題になると、「役員をもう一期」と言うことになるのが現状だからです。役員選出のむずかしさや自治会の母体である町内会の活動が、停滞気味なのは自治会の仕組みや活動に、会員の関心が薄いからなのでしょう。いつだったか、新聞の川柳に「ひら定年すぐ町内会で役が付き」というのがありました。自分のことを言われているようで、苦笑します。しかし、役員をすること、行事や会議で、自分の時間を犠牲にするのも多いですが、人間関係で我慢することも多く、今までより少し忍耐強くなることです。

川柳だか諺の「みのるほど頭のさがる稲穂かな」のように、あまり腹を立てないようにすれば、地域のために多少役に立てたという満足感も残ります。とにかく、もっといろいろな人が役員に出て、い

シンボルマーク 最優秀賞に 第四町内会の 後藤さん



かながわ都市緑化茅ヶ崎フェア・グリーンオアシス、ちがさき94(10月22日)10月30日、中央公園、市民文化会館などで開

樹木の成長とさがみ湾をイメージしたマークは、さわやかな作品となりました。シンブルにまとめるのに苦労されたとのこと。横浜で生まれ、香川育ち。香川小一北陽中一鶴嶺高と進まれ、卒業後、知人のイラストレーターの仕事を手伝ううちに、立体オブジェ・油絵・ディスプレイなど手がけるようになられたとのこと。写真とちがいが、実物の彼は若々しく、ナイーブなすてきな青年でした。これからの活躍をお祈りしております。

いちゃんか叱ったら「やっぱ怖くて叱れない。逆に欲しがらるものは、ついつい喜んで買ひ与えてしまふ。孫の教育は全然駄目である。でも、私の生甲斐ではある。」

催) テーマ、ハート&グリーン・みどりの風を湘南茅ヶ崎から——のシンブルマーク最優秀賞に香川在住の後藤充宏さん(26才)が受賞しました。

黒澤 ミヨ様	84才	1月19日
第二町内会	13-1組	
栗原 一郎様	73才	1月31日
第三町内会	11-2組	
真崎 知恵様	87才	2月1日
第四町内会	13-1組	
福島 ケイ様	94才	2月2日
第三町内会	8-1組	
高木 健作様	74才	2月7日
第一町内会	21-2組	
渡辺 秀子様	64才	3月1日
第四町内会	38-4組	
西海 順子	51才	3月9日
第一町内会	21-6組	
河南信次様	88才	3月11日
第二町内会	36-3組	
杉山光治(皖一)様	78才	3月12日
第二町内会	35-2組	

△訂正とおわび▽
前号で第二町内会43-1組森谷信夫様と記したのは御尊父安太郎様の誤りでした。訂正しておわび申し上げます。

い砂糖の結晶がすっかりからんだ所で火を止める。

にんじんのサラダ
にんじんは5cm位の細切り、玉ねぎはみじん切りで水にさらして、ツナ缶は油を切る。ザツと混ぜてドレッシングでどうぞ。サラダ菜でまわりを囲むと色どりがきれいですよ。

ホーレン草のサラダ
ホーレン草はサツとゆがいて2cm位に切ります。ハム1cm角位に切り、塩、コショウ、マヨネーズであえるだけ(キューリを入れてもOK)。おひたし、ゴマあえにあきたら、こんなホーレン草のたべ方もいかがですか。

夏みかんの皮のお菓子
材料 夏みかんの皮 2個分
砂糖 皮と同量100〜120g

作り方
(1)表面の皮を薄くそぎとる。この時アクの出るのを防ぐため、水につけながらむいていくのがコツ。
(2)全部むき終ったら包丁で4つ割りに筋目をつけ、そと皮をむき更に1枚を6つに切る。
(3)切り分けた皮は米のとぎ汁の中で柔らかくなるまでゆでて、水洗いしてから固くしぼりあげておく。
(4)皮がひと並びになるくらいの厚手の鍋に、皮と同量の砂糖を水をかけて煮たった所へ(2)の皮を一度にどっとう入れる。弱火でゆっくり煮続ける。
(5)だんだん煮つまって小さな泡がブツブツ上ってきたら、皮を箸でそとと返して蜜をからませていく。火は極限に弱くし、鍋が薄手の時には魚焼きの網を入れ蜜が色づかないように注意しながら煮つけていく。
(6)こげつかないように灼子でこすりながらこまめに返すうちに、白

高南一周駅伝で準優勝

阿部 利 昭

高南一周駅伝によせて
去る、一月十五日、茅ヶ崎体育館を、発着とする周回コースで、高南一周駅伝が開かれ、六十チーム出場する中で、地区対抗一部で、我が香川Aチーム男子は準優勝の成績をあげました。市内各チームとも、有力選手を配する中で、我が香川男子Aチームは、一、二区に中学生の、野村、奥沢両君を配して、必勝体制でのぞみ、三区葛西君が、前を走る人に追いつき、四区松下君が、四人抜きで三位に上り、アンカー菅野君が、区間賞に、十一秒及びませんでしたが、



一人を抜いて、堂々の二位で、ゴールすることが出来ました。戦前

若者達のおしゃべり集会

線路のプラン「こ」で ぶーらぶら

むかし話の最終は、諏訪神社前にお住まいの柳川治郎さんに伺って、閉じることにいたしました。機械いじりや植木の世話など、趣味を生かしてお元気に過ごしておられます。

柳川治郎さん 79才
大正3年4月1日生まれ

小学生の頃
時代が過ぎるのは早いもので、80年を迎える今日、子どもの時のことが、つい昨日のように思い出される。

丁度小学三年生の時、関東大震災を経験した。下校の途中、どこから音が聞こえるのか、ゴゴゴゴと音が聞こえない地鳴りがしていたが、平気で家に入り部屋にいた途端、ガタガタと家が大きく揺れ動いた。父が「早く外へ出るんだ」と大声で叫ぶが、足を取られて歩くことができない。どうやら

から始まったこの大会も、正月の大学箱根駅伝の七十回に次ぐ、五十六回の歴史を持つ駅伝です。古い歴史の中で、女子のチームが走れるようになったのは、四十一年大会でオープン参加というところで走り、次の四十二年大会から女子の参加が、正式にみとめられました。そして四十三回、四十五回大会で、香川女子チームは優勝するという快挙を成しとげました。我が香川には、三十回出場の記事を持つ、大久保さん始め、女子では十五回出場の越本さんがいます。上位をめざすチームでありながら、親子・兄妹・夫婦が選手として走るユニークなチームでもあります。体育振興会始め、自治会、走友会

など地域の皆様の御協力の賜と深く感謝するとともに、来年に向けて皆様お知り合いで、一緒に走れる人がおりましたら、☎525415阿部迄、お知らせいただければと思います。

物知りコーナー

「ありがとう」ということ

「世にまれである」という意であったのだ。
ところで、世にきわめてまれなことは、神仏の力で表現されることが多い。いわゆる奇蹟が起る。
香川の水田は、地味が肥え、特に米は品質良好で味がよかった。しかし、稲に必要な水源がなく、稲作は大変だった。田んぼに井戸を掘り、汲み上げた水を流す作業は言葉では表せない重労働だった。そうした苦勞を見るに見かねて、亀井勇次郎さんが、香川通から上赤羽根までの左岸用水作りに骨を折ってくださった。(昭和8年着工/15年完成)お蔭で立派な水田ができ、良い米が出来るようになった。戦後開発が進み、立派だった用水路も下水路に変わり、稲作ができなくなったことは、残念に思う。

以前は、現クラウン駐車場の所に集会場を作り、長いこと使用していたが、地主の坂田美弥次さんから返還を申し込まれ、代替地が見つからずに四年位待っていた。あきらめかけた頃、亀井精一さんから、現在地を寄付してくださるとの厚意があり建設された。

昭和49年のことである。
農産物出荷場
その頃は、農業がさかんで出荷物も多かったため、集会場を借りて出荷していた。会館ができてからは、その余地を借りて現在使っているが、今は作物も少なく、物置になってしまった。

私の人生の信念
人間稼業を長くやっている、ついで自分の歩いた足跡を振り返ってみたくなる。人間社会は、自分一人では歩けない。前後左右より人様に支えられていることが良くわかる。あの時、あの人の口添えで事ができたとか、教えてもらったとか、いろいろなことが思い出される。犬猫等の動物は、自分のみ生きること、他の者を助けることはない。万物の霊長と言われる人間は畜類のようなことではない。長い間、多くの人に助けられ今日に至ったのであるから、感謝の気持ち、恩返しの手持ちは忘れてはならないと思う。



柳川治郎さん

父は病弱で、早朝からの仕事を好まなかったため、私もそれに習い、宵つ張りの朝寝坊をやった。早起き自慢の百姓気質の時代であったにもかかわらず、父の真似をして、私はなまけ者だった。年が重なる、遊び友達が必要になる。毎晩、斎藤床屋(現美容院)の周辺で、ワイワイガヤガヤ若者達の情報交換をやり、遊び気分、勉強気分を味わった。(近所はさぞ迷惑だったろう)今のようテレビもラジオもない時代だから、人が集まって初めてにぎやかになる。近くの神社のお祭も楽しかった。甘沼、高田、円蔵、西久保、一之宮、田端、大曲など。特に大

曲の祭では、皆より先に帰り、大曲橋の橋板(昔の古川の橋で幅30cm長さ3m)をはずし、川を渡れなくして喜んだものだ。また、客用の西瓜やメロン、ビールが、井戸の中に冷してあるのを盗んでくる。今思えば情けないが、その頃は、そんな悪いことをして喜んでいました。

諏訪神社の職作り
私の祖父(5才頃亡くなったが)は、明治末期の茅ヶ崎で、三、四人しかいなかった大工の一人だった。諏訪神社の職を作ったそうだが、どの位の日数をかけたかわからないが、鎌倉方面に職用の木を下見に行き、翌日十人程(去年逝去された坪田藤吉さんも)で、大八車二台をつらねて持って来たという。その職木には、「棟梁柳川勘五郎」と銘が彫りこんであり、祭の後は「おじいさん有りがとう」と言っていて、名前の所を水洗いする。後世の記念である。

自治会館建設
以前は、現クラウン駐車場の所に集会場を作り、長いこと使用していたが、地主の坂田美弥次さんから返還を申し込まれ、代替地が見つからずに四年位待っていた。あきらめかけた頃、亀井精一さんから、現在地を寄付してくださるとの厚意があり建設された。

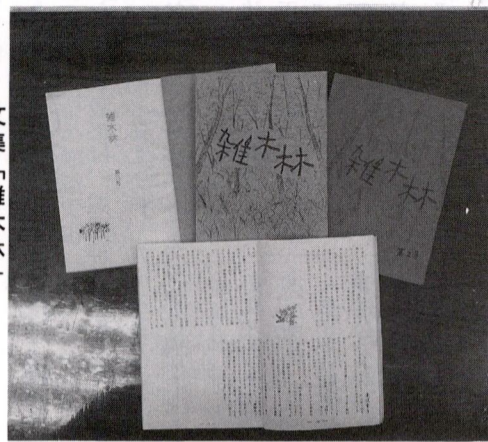
相模左岸用水完成
以前は、現クラウン駐車場の所に集会場を作り、長いこと使用していたが、地主の坂田美弥次さんから返還を申し込まれ、代替地が見つからずに四年位待っていた。あきらめかけた頃、亀井精一さんから、現在地を寄付してくださるとの厚意があり建設された。

相模左岸用水完成
以前は、現クラウン駐車場の所に集会場を作り、長いこと使用していたが、地主の坂田美弥次さんから返還を申し込まれ、代替地が見つからずに四年位待っていた。あきらめかけた頃、亀井精一さんから、現在地を寄付してくださるとの厚意があり建設された。

さーくる紹介

「背の高い木、低い木、大きな岩、美しい花の咲く木、咲かない木、木の下の色あざやかな苔や草花、わき水、虫たち、小動物、小鳥たち、林の中の住人は、

文章サークル「雑木林」



文集「雑木林」

「背の高い木、低い木、大きな岩、美しい花の咲く木、咲かない木、木の下の色あざやかな苔や草花、わき水、虫たち、小動物、小鳥たち、林の中の住人は、

みんなそれぞれちがうけど、さりげなく、少しづつ場所をゆずり合ったりして仲良く、気持よく住んでいる。私たちみんな、そんな雑木林になりたいと願っています。」

平成二年九月五日から十二月五日迄、公民館でのミニコミづくり講習会から発足した文章サークル「雑木林」の最初の文章「雑木林」のあとがきにサークルの方の気持がありました。フリーライター鈴木政子氏の指導のもとにエッセイ、取材文を書くことを中心に文章表現、本づくりの基礎を学んだことをもとに、

一年に一冊の文集を発行している。その折には新年会とし、鈴木政子氏にも来ていただき批評してもらったこと。活動は他に月一回の例会、そして有志でのハイキング等楽しみながら文章作りにはげんでおられます。月一回の例会では、何人かが作品を人数分コピーして来て、批評しあうとのことです。活動日ではないのに、取材のため四人の方が公民館に集まって下さりいろいろなお話が伺えた。人生の達人の集まりかと思われるような素晴らしい話が盛り沢山で、時間のたつのを忘れてしまいました。

最後にお一人の方の言葉を紹介します。文章は、その人その人の生き様ににじみでてくるのではないでしようか。」

代表 高羽しづ子 (57) 六一五五

二年間の任期を終るにあたり、広報委員の方々に、ひとこと述べてもらいました。

★これまで「皆さんに読まれる広報」、親しまれる広報作りをめざして努力してまいりました。企画から発行までには、ミスのないように一字一句に神経を使い、推敲を重ねてきましたが、文を読んでも活字を読まないために、校正

★香川に住んで30年、初めて自治会の仕事に参加させて頂きました。取材のため、あちこちお邪魔する中で、皆様がこの地域に根付き、香川を愛し、その発展を願っていらっしゃるお姿に接し、感無量でした。知らなかったこともたくさん学ばせて頂き、ご挨拶できるお仲間も増えました。

香川の古くすばらしい伝統文化を残すと共に、新しい風を吹きこんで、ますます住みよい街になることを願い、任を終らせて頂きま

編集後記

広報委員

ミスもありました。しかし委員の方たちが、和気あいあいと楽しく熱心に活動して下さいことは、ありがたく心から感謝申し上げます。

また皆様からは、「広報が面白くなった。発行を楽しみにしている。」など、おほめや励ましの言葉をいただき、ありがとうございます。

★香川にお住いの方々に少しでもお役に立てたでしょうか。多くの皆様方に愛読していただくために創意工夫しながら、編集に励んできました。

その間、いろいろのご協力頂いた方々に深く感謝いたします。

★広報委員の皆様は、原稿をお寄せ下さいました皆さんに感謝いたします。

自治会広報委員として、勤まるかという不安を抱えながら、任期を終えようとしている今、振り返れば小学生のときに学級新聞を作ったことしかない自分が、広報の編集など不可能と思いつながら、何とか無事に任期を終える事が出来たと感じています。また委員として多くの人と知り合う事が出来、意義ある二年間でした。

★水ぬるむ季節となりました。会員の皆さんご愛読ありがとうございます。街づくり、地域づくり、ふれあいなどを広報を通して、して居ります。自治会の活性化も会員のみならず、ご協力が必要でございます。「広報かがわ」を通じて、ご意見ご希望など、引きつづきご投稿下されば幸いです。



図書館 だより

新刊書の紹介

- ◎手縫いの旅 森 南海子
- ◎男こそ顔だ 大石 静
- ◎「メタルカラー」の時代 山根 一眞
- ◎お父さんのアウトドア講座 見戸 長治
- ◎だれでもできるやさしい水のしらべかた 河戸 昌子
- ◎丹沢を楽しむ 鈴木 澄雄
- ◎らくしておいしいものばかり 小林カッ代
- ◎世界の海水魚カタログ 成美堂出版

菜の花を摘みて花瓶を探しみる

菜の花の愛らしさに惹かれて思わず二、三本摘みとったが、もとよりこの花瓶に挿そうと支度があつたわけではない。菜の花を手にとって瓶を探しているほほえましい風景が見えてくる。

鬼追ひの豆に雀のむらがり

長島 久江

もの芽の影を写してシート干す

快晴の洗濯日和、洗ったシートを竿にかけると、芽吹きはじめた枝がくっきり写って春になった喜びを感じさせる。

足跡の波に消さるる鳥雲に

藤村 球子

花街の遅き夜明や蜩壳

水商売の店の集った町は朝が

遅い。ねむそうな顔で戸を開けて味噌汁のみに蜩を買っているのだらう。蜩売りもこの町は今時分がよいことを心得ている。盛り塩の乾いてゐる余寒かな

香澤 幸子

独り居に客の来てる春炬燵

きらきらと丹沢の尾根寒もどる

湯川 章一

一人居て夜も明るき春一番

芽吹き時の光る雨に打たれけり

石田カッ子

老犬の日だまり追って眠りをり

寂として音の絶えたる牡丹の芽

藤井 謙昌

剪定の思ひ切りよき椎並木

江の電の家並を抜けて風光る

川名 千代

春雷の去りし彼方にはぐれ鳥

疲れたる目にやさしかり福寿草

選者 吟

陽の水の光ましたり百千鳥

連絡先

長島久江 ☎576525

★広報委員の皆様は、原稿をお寄せ下さいました皆さんに感謝いたします。

自治会広報委員として、勤まるかという不安を抱えながら、任期を終えようとしている今、振り返れば小学生のときに学級新聞を作ったことしかない自分が、広報の編集など不可能と思いつながら、何とか無事に任期を終える事が出来たと感じています。また委員として多くの人と知り合う事が出来、意義ある二年間でした。

★水ぬるむ季節となりました。会員の皆さんご愛読ありがとうございます。街づくり、地域づくり、ふれあいなどを広報を通して、して居ります。自治会の活性化も会員のみならず、ご協力が必要でございます。「広報かがわ」を通じて、ご意見ご希望など、引きつづきご投稿下されば幸いです。

★香川に住んで30年、初めて自治会の仕事に参加させて頂きました。取材のため、あちこちお邪魔する中で、皆様がこの地域に根付き、香川を愛し、その発展を願っていらっしゃるお姿に接し、感無量でした。知らなかったこともたくさん学ばせて頂き、ご挨拶できるお仲間も増えました。

香川の古くすばらしい伝統文化を残すと共に、新しい風を吹きこんで、ますます住みよい街になることを願い、任を終らせて頂きま

俳句 茅花会

平塚司郎選

紅梅に身を乗り出しぬ通過駅

この頃はアクティイなどという小さな駅は止まらない電車がふえた。単調な風景だった車窓一枚に見事な紅梅が飛びこんで、思わず腰を浮かしたが、ここは止まらない駅だった。

園庭に児等の歌声犬ぶぐり

連絡先

長島久江 ☎576525

★広報委員の皆様は、原稿をお寄せ下さいました皆さんに感謝いたします。

自治会広報委員として、勤まるかという不安を抱えながら、任期を終えようとしている今、振り返れば小学生のときに学級新聞を作ったことしかない自分が、広報の編集など不可能と思いつながら、何とか無事に任期を終える事が出来たと感じています。また委員として多くの人と知り合う事が出来、意義ある二年間でした。

★水ぬるむ季節となりました。会員の皆さんご愛読ありがとうございます。街づくり、地域づくり、ふれあいなどを広報を通して、して居ります。自治会の活性化も会員のみならず、ご協力が必要でございます。「広報かがわ」を通じて、ご意見ご希望など、引きつづきご投稿下されば幸いです。

★香川に住んで30年、初めて自治会の仕事に参加させて頂きました。取材のため、あちこちお邪魔する中で、皆様がこの地域に根付き、香川を愛し、その発展を願っていらっしゃるお姿に接し、感無量でした。知らなかったこともたくさん学ばせて頂き、ご挨拶できるお仲間も増えました。

香川の古くすばらしい伝統文化を残すと共に、新しい風を吹きこんで、ますます住みよい街になることを願い、任を終らせて頂きま



広報委員の皆さん